

緊急時の下校班を編成!!

本日は全校集会時に緊急時の一斉集団下校班の編成を行いました。西船場(3地区)・本田(5地区)・明治(4地区)・中之島・その他の14班に分かれて、それぞれメンバーのお互いを確認し合いました。地震や暴風雨などの震災時や、不審者対応や学校周辺の事故・火災などの緊急時に、このメンバーで協力して下校します。



いざという時の班分けですが、その時にはきちんと対応できなくてはなりません。すでに今年も多く災害が起こっています。つい先日の豪雨による被害も大きかったです。温暖化による線状降水帯の多発で、数10年に1度といわれる驚異的な降雨災害がこのところ毎年発生しています。今回も全国で100か所以上の河川が氾濫し、250か所以上の土砂災害が発生したそうです。被災地の皆さんのことを思うと胸が痛みます。

学校長の話より



特に被害がひどかったのが九州中央山地の球磨川流域。もともこの地域は山紫水明の地、九州の小京都といわれてきました。語源のとおり、陽に映えて山は紫に輝き、川は澄み切って清らかな地域です。しかし、球磨川は、最上川、富士川と並ぶ「日本三大急流」の1つで、とても流れが速い河川でもあります。いずれにしても、こうした美しい山や川が突如、牙をむく

のが自然災害です。現地ではボランティアの集まりも思うようにならず、復旧がかなり遅れているとのことです。私たちの身にもいつ災害が降りかかるかはわかりません。今日かも、明日かもしれませんが、とにかくこのまま何も無いことを祈るのみですね。

年度当初の予定では7/17(金)が1学期の終業式でした。例年通り日程が進めばすでに夏休みに入っていました。家で東京オリンピックを見ながらのんびりしている人もいれば、部活動や勉強(塾の夏期講習?)などに取組む人、旅行に出かける人もいるというところですが、現実には新型コロナ禍によって8/7まで延びてしまいました。しかし“1学期もきちんと学校生活ができて、夏休みも(とても短くなったけど)きちんとあってよかった。”と、前向きにとらえて、あと2週間ほどを元気に頑張っていきましょう。



水泳の授業が始まりました。

今週から水泳が始まりました。フィジカルディスタンスを配慮しての授業ですので、これまでと違って泳ぐ量は少なくなりますが、みんなテキパキと動いて、泳いでいました。途中で前を泳ぐ人に迫りすぎたり、プールサイドを歩くときなどに、周りが「近いよ」「距離とって」などと声を掛け合い、一生懸命でした。ちょうど本日は梅雨が明けたような天気でもとても蒸し暑く、絶好のプール日和でした。例年と違って今年

年は授業時数も少なくなりますが、1時間1時間を大切に頑張らしましょう。

本日の5限目、3年生は租税教室でした。西税務署の職員の方と税理士の方をお迎えして出前授業を行っていただきました。資料をもとに税の仕組みや種類についてわかりやすい説明があり、納税の大切さを理解することができました。体育館がとても暑かったので、熱中症等を心配しましたが、みんな途中で各自水分補給しながら、よく頑張りましたね。講師の先生もみんな

の熱心な様子にとっても感心しておられました。1億円(もちろんレプリカ)が入ったジュラルミンケースを展示したり、ゲームやシュミレーションなどのメニューもあるのですが、「密」を避けるということで今回は説明のみとなったようです。こんなところにも新型コロナウイルスの影響が出ているのですね。残念でした。今後は夏休みに向けて「税の作文」の課題があるそうです。今日のお話をよくまとめて、しっかり取り組みましょう。



校長談

水泳というと忘れられない思い出があります。高校2年生の水泳大会。けっして苦手ではなかった(むしろ少し自信があった)私は、50m自由形に出場しました。しかし、運悪く水泳部の友人と同じレースになってしまいました。出番がきて、みんなが飛び込み台に立って準備をしていると、なんとその友人は水に入って背泳のスタート準備。「自由形なので背泳でもいいけど、普通クロールやろ」とだれもが思ったことでしょう。しかし、結果は彼がダントツの1位。私は5mほど離されて2位でした。全力を出しきって上にあがるのもしんどかった私の手をプールサイドから引っ張ってくれた彼は、全然息を切らしていなかったのです。周囲の「さすが水泳部」という拍手喝采と共に、「頑張ったな」と皮肉にしか聞こえない一言はけっして忘れられません。今でもたまに会うと私は必ずその話をするのですが、彼は「よく覚えてないな…」と、いつもとぼけ続けています。

